

ITの力で魅力のあるまちづくりを目指す

J-TRADE 合同会社・下川部 淳さん

北海道苫小牧市で情報通信業を営む J-TRADE 合同会社。魅力あるまちづくりを目指し、苫小牧のローカル情報を発信するほか、コワーキングスペースや総合型地域スポーツクラブも展開し、地域の活性化に貢献しています。代表の下川部 淳さんにまちづくりへの想いや一緒に働きたい人物像などについて、お話をうかがいました。

■企業概要について教えてください。

私とアルバイト1名の一人親方で、情報通信業を運営して5年になります。私自身プログラマーですから、“ITを活用したまちづくり”が事業の根幹となっています。ホームページ・ウェブアプリ制作事業、メディア事業、コワーキングスペース事業の3本柱に加え、2023年、スポーツ好きの5人と総合型地域スポーツクラブを立ち上げました。

いろいろな事業を手掛けていますが、私自身は一貫して“情報通信業”しかやっていないと思っています。ホームページ制作では、設計やプログラミングだけでなく、写真も撮るし、取材もするし、マーケティングも含めて全てできてホームページビルダーだと考えているので、何でもします。

■コワーキングスペースを始めたきっかけを教えてください。

WEB関係の仕事はリモートでもできるので、私自身、起業当初は家から一歩も外に出ないような生活が続いていました。まずは、仕事とプライベートをしっかりと分けたいと思い、市内で一人部屋程度の事務所やコワーキングスペースを探したのですが見つからなかったんです。そこで、大きめの事務所を借りて共同で使い、自社の家賃が無料になったらラッキーという程度の気持ちで始めました。

実際にコワーキングスペースを運営してみると、小規模事業者の方に大変喜ばれて、私のなかでは社会意義のある仕事に取り組んでいると思っています。

■総合型地域スポーツクラブはどうして始められたのでしょうか？

2年前に、地域の魅力を伝える目的で地域情報誌を出版したとき、苫小牧市内のスケートボードショップのオーナーさんにインタビューをしたことがきっかけです。私もスポーツに関心があり、オーナーさんと個人的にお付き合いをさせていただくなかで意気投合し、スポーツクラブを設立することになりました。

今、ちょうど苫小牧駅前の再開発計画が動くなか、旧駅前バスターミナル跡地を利用し

て、スケートボードを中心としたアーバンスポーツ（都市環境を活用して行われるスポーツ）ができる施設の建設を、クラウド・ファンディングなどを活かしながら進めているところです。

■下川部さんのお仕事には協力してくれる人材が不可欠だと思いますが、求めている人物像はありますか？

私自身は主義主張がはっきりしている方が好きです。これまで、明確なビジョンをお持ちの方やそれに向けて行動されている方と事業をしてきました。情報誌の出版も「自分たちのまちをアピールしたい」という熱量の高い方たちが関わり合うことで実現しました。行動力も大切ですが、行動を起こす前のビジョンも重要だと思っています。

■今後のビジョンについてお聞かせください。

苦小牧には魅力がたくさんあるのに、それを十分に伝えられていません。自分たちの魅力は中にいる人は気づかないものです。

たとえば、苦小牧の隣町のむかわ町には白鳥がたくさんいて、東京の人が見たら、目をキラキラ輝かせて感動するような光景が広がっているのに、地元の人にとっては当たり前で「うるさいな」くらいしか思っていないところがあります。

視点を変えれば、地域の特有の素晴らしさに気づけるはず。私も気づいたことを、オウンドメディアで発信し、苦小牧の魅力づくりに貢献したいと思っています。

【企業 HP】 <https://www.j-trade.org/>